

<ワークショップのご案内>

持続エクスポージャー療法（PE）の応用セミナー

——認知処理と悲嘆・喪失の治療——

謹啓

初夏の候、先生方におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

このたび、ペンシルバニア大学不安障害治療&研究センターでEdna Foa先生とともにPEの研修やスーパービジョンを手掛けていらっしゃるTracey Lichner先生をお呼びして、下記の通り、2日間ワークショップ（逐次通訳付き）を開催致します。PEを深めるための認知処理と、悲嘆治療について学びます。すでにPEの研修を受講された方だけでなく、トラウマに関心をお持ちの全ての先生にとって貴重な機会と思われまますので、ご案内致します。なお2日間のご参加をお勧めしますが、1日のみの参加も受け付けております（受講証は発行されます）。

開催責任者：PE Japan 会長 金吉晴（国立精神神経医療研究センター）
協賛 立正大学心理臨床センター

日時：平成25年9月1日（日）～2日（月）
9:30～16:30
会場：立正大学 大崎キャンパス
〒141-8602 東京都品川区大崎 4-2-16
定員：50名（予定）



ワークショップの概要（いずれも治療ビデオを呈示しながらの実践的な研修を行います）

9月1日（日）：PEにおける認知処理

想像エクスポージャーの後の認知処理に重点を置いた研修を行います。最近では、この認知処理を適切に行うことによって、想像エクスポージャー中の感情的関わり（エンゲージメント）が必ずしも大きく上がらなくても、同等の治療効果が得られると考えられています。トレーシー先生はBeck研究所で認知療法を習得した後にFoa先生のスタッフになっており、PEにおける認知処理については非常に深い造詣をお持ちです。

9月2日（月）：PEに基づいたグリーフセラピー

トラウマの被害者が同時に死別や喪失を経験していることは少なくありません。複雑性悲嘆の症状を引き起こしている方に対して、PEの技法を応用し、死別、喪失に伴う感情と思考を再考し、現実の生活との結びつきを取り戻し、死別、喪失の意味を考えていけるような援助をするための方法を学びます。

研修のお申込みは、tracey@pe-jp.org宛て、件名を「申し込み」とし、ご所属、ご氏名、職種、経歴年数、参加希望日をご明記の上、ご連絡ください。過去に参加されたPEワークショップなどもお書き下さい。定員に達するまで順次選考を行います。最新情報は<http://pe-jp.org/>をご覧ください。